



PDA 東京都立八王子東高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年10月8日（木）15:30-18:00

会場：東京都立八王子東高等学校（Zoomを用いたオンライン開催）

参加者：生徒18名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

はじめに、八王子東高校の宮本校長先生より、「積極的にチャレンジして、楽しんでディベートしてください。」と激励のご挨拶をいただきました。

次に、PDAスタッフより、これまでの首都圏交流大会の様子の紹介や、ルールの復習を行いました。POI(Point of Information)の練習では、元気にPOIと立ち上がって、POIのポーズをとることができました。



宮本校長先生のご挨拶



POIの練習

ルールの確認を終えると早速第1ラウンドの始まりです。自分たちが中学生時代の経験などを具体例として説明したり、相手の話をより詳しく聞きたいときにPOIをしたり、活発な議論となりました。ジャッジの先生からのフィードバック後も、質問が絶えず、宮本校長先生のお言葉にあった「積極的なチャレンジ」が見られました。

続く第2ラウンドでは、第1ラウンドよりも積極的にPOIが交わされ、白熱した議論となりました。相手の話をよく聞いて、その場で考えて、即座にレスポンスする姿が見られました。ディベートが終わると、お互いの健闘をたたえ、エアークラップを交わしました。



POIで質疑応答



堂々とスピーチ

最後に、第2ラウンドでベストディベータに選ばれた生徒が「第1ラウンドは初めてで流れもつかめずグダグダになってしまったが、第2ラウンドではスムーズにできた。」「首長や相手の意見、相手が反論してきそうな点など、考えなければならないことが多くて大変だった。そして、それを即座に考えて話すというのが難しかった。次も頑張りたい。」「自分たちの知っている単語などがぴたっとハマってスピーチできた時は嬉しかった。また頑張りたい。」など感想を述べ、体験会は終了しました。



ベストディベータに選ばれた生徒による本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・とても難しくて、中々言葉が出てこなかったが楽しむことができてよかった。
- ・もっと英語が話せるようになったらもっとディベートに取り組みたい。授業でも取り入れて体験する機会が欲しいと思った。
- ・今までやったことない経験で、思うようにできなかったところも多かったが、有意義な時間経験になったと思う。
- ・15分だけではんで意見をまとめたり、相手の発表最中に相手の意見を聞き取って反論を出すことはとても難しかったけど、やりがいを持って楽しかった。
- ・初めてのディベートで難しかったけど、英語で自分の意見を考えることが楽しかったからです。
- ・自分の意見をその場で考えて、英語で言うという、普段はできないような体験ができて、とても勉強になりました。
- ・自分の持つ語彙を駆使してディベートをするのが面白いと感じた。人と議論することが苦手で、最初は緊張していましたが、自分の意見を主張しつつ、相手へ反論する楽しさが分かりました。
- ・英語は得意かなと自負していましたが、実際の会話はスピードに追いつかず、頭が真っ白になってしまいました。ただ、知識を絞り出して協力する事がとても楽しかったです。
- ・話したり、言葉を考えるのは難しかったけれども、しっかりと考え、自分の意見を発表したり、他の意見を取り入れたりすることができた。
- ・英語のまとめ方についていい評価をもらえたことは、今までの努力が実感できてよかった。でも、即興でアイデア出しとなるとまた全然違って難しかった。
- ・頭を使いながら話すことが難しかしかったけれど、自分の考えが相手に伝わって良かった。次回があれば、重要性を補強出来るようにメモなど頑張りたい。
- ・難しかったけどとても楽しかったです。語彙の少なさを痛感したのでこれから語彙を増やしていきたいと思いました。
- ・とても難しかった。相手の言ったことにすぐ反論しなくてはならなかったので前でモゴモゴしてしまった。でも英語力はとてつくと考えた。